

Force 100GS

夜間撮影に強い2カメラ型 ドライブレコーダー

取扱説明書



この度は、弊社製品をご購入いただき誠にありがとうございました。本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。このマニュアルを熟読してください。

miraiON
明日のあなたへ

はじめに

ドライブレコーダー
本体

リアカメラ

使用について

録画・再生

設定画面

動画再生用ソフト

サポートチェック

修理・点検依頼

製品に関する
お問い合わせ

製品仕様

保証規定

目次

安全上のご注意	2	6. 設定画面	24
使用上のご注意	3	6-1 録画モード	24
1. はじめに	6	解像度	24
付属品	6	ファイル構成	25
別売オプション	7	リアカメラ鏡像	25
名称	7	音声録音	25
ケーブル配線図	7	露出再生	25
2. ドライブレコーダー本体	8	タイムラプス	25
2-1 本体取り付け	8	動体検知	26
2-2 取り付け位置とクリーニング	8	6-2 再生モード	28
2-3 ブラケットの取り付け (粘着式、吸盤式)	9	6-3 設定モード	28
3. リアカメラ	10	音量、日時設定、日時表示正式、データ形式	28
3-1 取り付け	10	表示言語	29
3-2 動作確認	10	LED 信号	29
3-3 取り付け位置とクリーニング	10	画面オートオフ	29
3-4 ドライブレコーダー本体から後方へ配線 (リアガラス、車外は共通)	11	G センサー	29
3-5 リアガラスに取り付ける場合	12	GPS 受信状態	29
3-6 車外に取り付ける場合	14	タイムゾーン	30
3-7 車内に取り付ける場合	15	初期化設定	30
3-8 フェライトコア取り付け	16	メモリーカードフォーマット	30
注意	16	7. 動画再生用ソフト	31
4. 使用について	17	7-1 Windows 版	31
4-1 起動	17	7-2 MAC 版	31
4-2 初期設定	17	7-3 ソフトウェアのダウンロード	31
4-3 ボタン	18	8. サポートチェック (故障の疑いがある場合)	32
4-4 電源オフ	19	1 スマホの充電器で動作チェック	32
4-5 録音	19	2 メモリーカード	32
4-6 LED ランプ	19	3 メモリーカードのフォーマット	33
4-7 画面表示の切り替え	19	4 ドライブレコーダーに必要な電源不足	33
4-8 アイコン (モニター画面)	20	5 ライブレコーダーの充電不足	33
5. 録画、再生	21	6 ンジンキーの使い方	33
5-1 常時録画 (上書き)	21	7 電源ケーブルの接触不良	34
5-2 緊急録画	21	8 ファームウェア更新	34
5-3 スナップショット (静止画撮影)	21	9 特殊車両 (アイドリングストップ、ハイブリット、省エネ機能の一部)	34
5-4 映像再生	21	10 電波干渉	34
5-5 USB 接続 (データの読み取り)	23	FAQ	35
5-6 保存先フォルダ名	23	9. 修理・点検依頼	36
5-7 メモリーカード接続 (データの読み取り)	23	9-1 不具合の疑いある場合	36
5-8 ファームウェアのアップデート (更新作業)	23	9-2 保証対応の場合	36
		9-3 依頼時に必要なもの	36
		9-4 依頼時の送料	36
		10. 製品に関するお問い合わせ	37
		11. 製品仕様	38
		12. 保証規定	39

安全上のご注意

製品を安全にご利用いただくため、ご使用前に以下の「安全上のご注意」をご確認ください。当説明書では、お客様や周辺の方々への危害や財産への損害を未然に防止し製品を安全にお使いいただけるよう図記号を併せて注意・警告の喚起を行っています。

●下記の表示は 誤った取扱によって生じる可能性のある危害・損害の程度を示しています。

 警告	死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	怪我をしたり、周辺の財産に損害を与える可能性があります。

●お客様に守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止事項 (やってはいけない内容です)	 指示事項 (実行・遵守いただきたい内容です)
---	---

 注意	
 禁止 運転中に画面やLEDインジケータを注視しないでください。前方不注意による事故の発生原因となる可能性があります。 コードを噛み込ませたり、引っ張ったり傷つたりしない。ショート・断線などにより、発火など故障・不具合の原因となる事があります。	 指示 安定した場所に設置・固定してください。固定されていない状態および不安定な状態でのご使用は、急ブレーキなどの際、思わぬケガや損傷を負う危険があります。必ず固定してご使用ください。取り付けはフロントガラスの上下範囲のうち上端から20%の範囲を目処に取り付けてください。※詳細は、10ページをご参照ください。
 指示 規定容量のヒューズを使用してください。必ず製品の規定容量のヒューズ(5V/1.5A)をご使用ください。	 禁止 ケーブルを引っ張らないでください。シガープラグを抜く際は、ケーブルを引っ張ったりせず、必ずシガープラグを持って取外してください。
 指示 音量にご注意ください。電源投入時、スピーカーから大きな音が出ることがあります。電源を切る前に音量を下げてください、また適切な音量設定でご利用いただくなどご注意ください。	 禁止 停車中に長時間使用しないでください。エンジンを停止したまま長時間にわたり使用しないでください。バッテリーの放電によりエンジンが始動しない恐れがあります。

 警告	
 禁止 規定電圧以外で使用しないでください。当製品はDC12V～24Vマイナスアース車専用です。規定外の電源・電圧での使用は発火・感電等の原因になります。	 指示 車を離れる時は電源を切ってください。車種により、エンジン停止状態でもシガーソケットに常時給電されている車種があるため未使用時にはシガープラグ電源ケーブルを必ず抜いてください。
 水濡れ禁止 水をかけたり、濡らさないでください。内部に水が入ると故障・発火・感電の原因になります。	 禁止 高温にご注意ください。高温を発生するヒーターなどの付近に設置しないでください。発火・故障・変形等の原因になります。
 禁止 運転の妨げになる場所に設置しないでください。視界を妨げたり運転操作に支障のする場所には設置しないでください。視界不良・操作ミスにより交通事故の原因となる可能性があります。	 指示 シガープラグを定期的に点検してください。シガープラグやソケットを定期的に点検し、ホコリや汚れがないよう清掃してください。汚れによって動作不良や発火・感電等をひき起こす原因になります。
 指示 エアバッグにご注意ください。エアバッグの作動範囲外に取り付けてください。エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。	 禁止 運転中は操作しないでください。走行中の操作は前方不注意・運転操作ミスによる事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキを掛けた状態で操作を行ってください。また、手動録画操作の際には周囲の安全を十分に確認してから操作を行ってください。
 故障・異常の際はすぐに点検を！ 発煙、異臭、異音など異常が発生した場合は、シガープラグを抜き販売店に点検をご依頼ください。発火・感電等の原因となります。	 禁止 分解・改造しないでください。発火・感電・故障の原因となりますので絶対に分解・改造しないでください。

本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接的、間接的に問わず、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

本製品の使用、または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録の内容の変化・取消など）に関して当社は一切の責任を負いかねます。

万一運転中の落下した場合は、急停車すると事故の原因になりますので慌てずに周囲を確認してから安全な場所に停車してください。

●ご注意

本製品の使用中における違反に関して、一切の責任を負いかねます。ドライバーは安全運転を心がけてください。

本製品を取り付けた事による、車両や車載製品の故障、事故など費用や損害などについて当社では責任を一切負いません。

付属品以外の製品を使用されますと、本製品に損傷や損害、破壊などを与える恐れがあります。

本製品の故障による人身事故や火災事故、社会的な損害など当社では責任を負いかねます。本製品の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

●購入証明書

ご購入証明書（レシートや購入画面など）は、大切に保管してください。

保証期間中に当社の無償サポートサービスを受ける際に必要になります。

無償の保証期間はご購入日から1年間です。

お問い合わせ、サポート依頼時は「9. 修理・点検依頼」をご確認ください。

返送時の送料について、ご購入日から1ヶ月以内の場合は初期不良扱いとなるため指定便（ゆうパック着払い）でお送りください。ご購入日から1ヶ月を経過している場合は依頼主から元払いで当社へお送りください。

●ご購入後

速やかに動作確認を行ってください。初期不良の場合でも取り付けや取り外しなどにかかる費用のご負担を当社では一切ご負担しておりませんので、必ず配線前に使用する機能の動作確認を行って設置を行ってください。

●配線時

取り付け作業について、整備工場や専門業者にご相談のうえ取り付けを行ってください。取り付け後、「ブレーキ」「ライト」「クラクション」「ウインカー」「キーロック」など全電装品の動作確認を行ってください。

特殊車両（アイドリングストップ、ハイブリット、省エネなどの機能を持つ車種）において電源供給が急激な遮断や瞬間停電などによってドライブレコーダーがうまく動かなくなる場合がございます。その場合、各機能と連動しない安定した電源供給が可能な配線でご使用いただけますでしょうか。

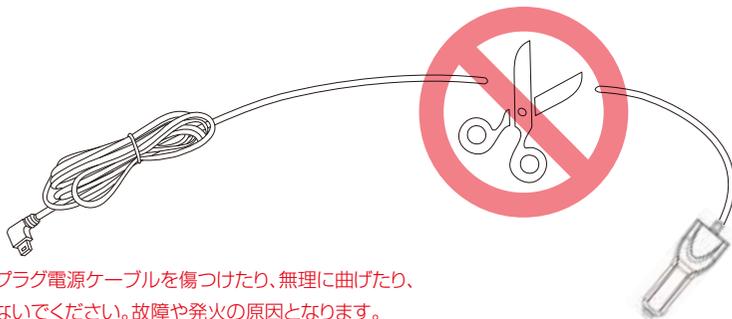
●ケーブル

付属の電源ケーブルまたは当社対応ケーブルをご使用ください。

他社製ケーブルを使用された場合、うまく動かない恐れがあります。

ケーブルの配線時に車両側部品との噛みこみや突起物と干渉しないよう必ず注意してください。

破損や漏電、事故、火災、感電等の原因になります。



シガープラグ電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や発火の原因となります。

※改造した場合は保証対象外となります。

※イラストはイメージです。実物と異なる場合があります。

●改造

電源ケーブルを傷つける事や無理に曲げる、加工、改造などによって故障や発火の原因となります。このような項目に該当する場合には保証対象外となりますので、予めご了承ください。

ドライブレコーダーへの入力電力仕様をよくご確認の上、電圧変換に十分ご配慮ください。電圧変換や配線などを間違えてしまうと本製品の故障・エンジン故障・事故の原因になります。詳しくは販売店または車整備専門店の方にご相談ください。

●メモリーカード

メモリーカード（動作確認、規格、容量）動作確認には、必ず付属のメモリーカードをご使用ください。

定期的なメンテナンスとして、フォーマットを実行してください。故障の有無も同時にチェックできます。

パッケージや仕様表に記載してある規格・容量のメモリーカードに対応しております。

すべてのメモリーカードに対して動作を保証するものではありません。

本製品の電源が切れるまでメモリーカードを抜かないでください。メモリーカードに録画されたデータ破損や本体破損などが発生する場合がございます。

シガー分配器の製品によって電圧低下や不安定なものがあり、起動しない、録画中断、録画されていない場面の恐れがありますので本製品と併用しないでください。

製品の品質向上のため、デザインや仕様、付属品、取扱説明書、ファームウェアなど予告なく変更や修正される場合がありますのでご了承ください。更新情報はホームページ (<https://www.miraion.jp>) をご覧いただけますでしょうか。当社では万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら右記のメールアドレス (miraion@miraion.jp) までお問い合わせください。

●湿気が多い場所や高温の場所に機器を放置しないでください。

●本機のレンズに異物が付着した際は、指で直接レンズに触れないでください。

●機器に異物が混入した際は当社までご連絡ください。ご自身で本機や電源ケーブルを解体しないでください。

●メモリーカードの性能を保つため、長時間機器をご使用にならない場合はメモリーカードを取り出してください。

●長時間機器をご使用になられない場合は機器を取り外して電源ケーブルを抜いてください。

●エンジン停止後にシガーソケットへ電源供給される車両の場合、カーバッテリーの放電防止のために未使用時にはシガープラグ電源ケーブルを必ず抜いてください。

●本製品は映像と音声のデータを録画する装置ですが、すべての状況において映像と音声、データを録画することを保証するものではありません。万が一録画されなかった場合やデータの破損、録画内容で詳細を判別できないことによる損害、また本製品を使用することによって生じた損害につきまして当社では一切責任を負いません。

本製品は事故の検証に役立ちますが、証拠としての効力を保証するものではありません。

1.はじめに

■付属品

①



本体

②



リアカメラ
(接続用ケーブル約 30cm)

③



シガープラグ
電源ケーブル (約 4m)

④



取り付けブラケット
(シールタイプ)

⑤



取り付けブラケット
(吸盤タイプ)

⑥



フロントカメラ取付
用粘着テープ (予備)

⑦



リアカメラ取付
用粘着テープ (予備)

⑧



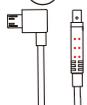
粘着ブラケット急傾斜
パーツ (フロント用)

⑨



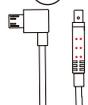
分岐ケーブル
(リアカメラとGPS 接続用)
(約 17cm)

⑩



リアカメラ用
ケーブル (約 10m)

⑪



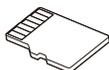
リアカメラ用
ケーブル (約 10cm)

⑫



GPS アンテナ
(約 1.7m)

⑬



microSDHC カード
(変換アダプタ付属)

⑭



ドライブレコーダー
搭載ステッカー

⑮



クイックガイド &
保証書

⑯



内張りはがし

⑰



フェライトコア



ご購入後、必ず付属品の内容をご確認ください。

※製品の品質向上のため、デザインや仕様、付属品、取扱説明書、ファームウェアなど予告なく変更や修正される場合がありますのでご了承ください。更新情報はホームページ (<https://www.miraion.jp>) をご覧いただけますでしょうか。当社では万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら右記のメールアドレス (miraion@miraion.jp) までお問い合わせください。

※付属のケーブル、メモリーカードは本製品の専用部品としてご使用ください。故障や不具合の原因となります。

※メモリーカード、取付用ブラケットなどは消耗品扱いとなりますので、保証の対象となりません。

※メモリーカードは消耗品のため、定期的に新品との交換を推奨しています (交換時期は使用頻度で異なる)

別売オプション

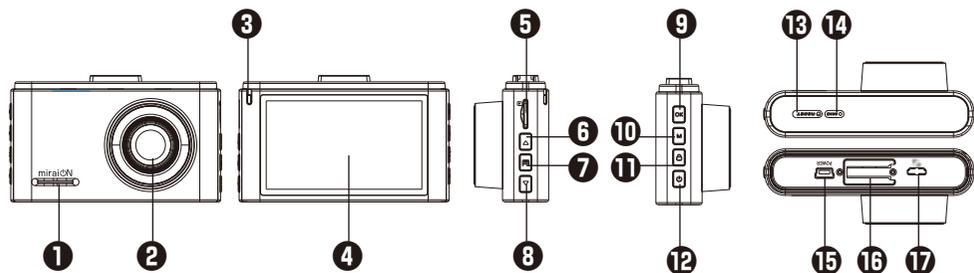
リアカメラ延長ケーブル 10m

MRO-AC012 JAN 4580575278920

ラクラク！オフタイマー常時電源ケーブル

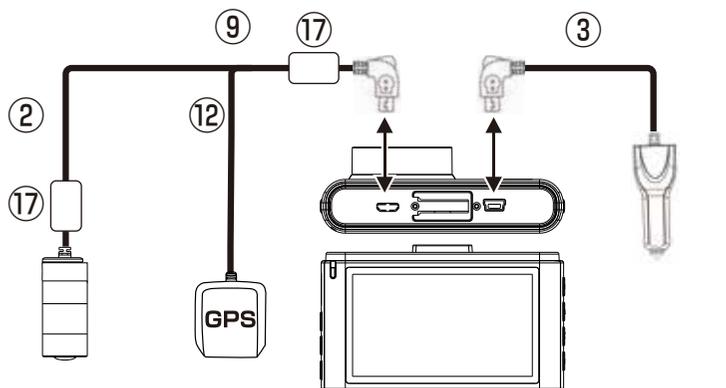
MRO-CAR01 JAN 4580575278050

名称



- | | | |
|----------------|------------|-------------------------|
| ① スピーカー | ⑦ メニューボタン | ⑬ リセットボタン |
| ② カメラレンズ | ⑧ 下ボタン | ⑭ マイク |
| ③ LED ランプ | ⑨ OK ボタン | ⑮ 電源コネクタ (mini USB) |
| ④ 液晶モニター | ⑩ MODE ボタン | ⑯ ブラケットスロット |
| ⑤ microSD スロット | ⑪ 緊急録画ボタン | ⑰ リアカメラコネクタ (micro USB) |
| ⑥ 上ボタン | ⑫ 電源ボタン | |

ケーブル配線図

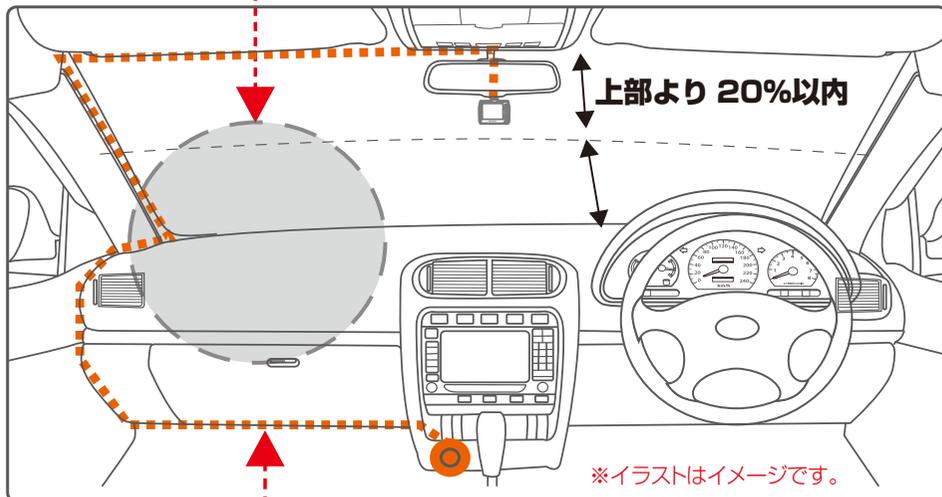


- | | |
|----------------------------|----------------|
| ② リアカメラ | ③ シガープラグ電源ケーブル |
| ⑨ 分岐ケーブル | ⑫ GPS アンテナ |
| ⑰ フェライトコア (詳細は3-8をご確認ください) | |

2. ドライブレコーダー本体

2-1 本体取り付け

エアバッグ作動範囲を必ず避けて取り付けてください。



電源ケーブルは視界の妨げにならないようガラスの縁などを這わせて金具等でしっかりと固定してください



ご購入後、必ず付属品の内容をご確認ください。

- フロントガラスのフチの着色部やアンテナ、熱線などを避けて取り付けてください。
- エアバッグ作動範囲にご注意ください。エアバッグ作動範囲内に取り付けした場合、エアバッグ作動時、思わぬケガを負う可能性があります。当社は車両衝撃やエアバッグ動作の原因で傷害や重傷、死亡等に至るな事故に関しては一切の責任を負いかねます。
- 地デジや ETC 等のアンテナ近くに設置しないでください。
- 本体カメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信出来なくなります。

2-2 取り付け位置とクリーニング



最初に取り付け位置を決めてください。
取付位置のガラスをクリーニングクロスで汚れや油分、水分を除いて清掃してください。



取り付け例はあくまでも参考のため車種によって異なります。
取り付け作業は業者及び自己責任のうえお取り付けください。

2-3 ブラケットの取り付け

●粘着式



- ① ブラケットを本体ブラケットスロットを一番奥までしっかりスライドしてください。
 - ② 粘着部分の保護フィルムをはがし、取付位置に貼り付けて押さえて固定する。
 - ③ 最適な撮影アングルを調整する。
 - ④ 液晶モニターとレンズの保護フィルムをはがす。
- ※ 貼り直しをすると粘着力が弱まり、貼り直しができませんのでご注意ください。

! 固定力を維持する為、取付後 24 時間以上経過してから使用してください。

●吸盤式



- ① ブラケットを本体ブラケットスロットを一番奥までしっかりスライドしてください。
- ② 適切な位置に吸盤で取付ながら、固定レバーを下げて、押さえて固定する。
- ③ 最適な撮影アングルを調整する。
- ④ 液晶モニターとレンズの保護フィルムをはがす。

! 撮影した映像の色や暗く撮影されてしまうため、必ずレンズ保護フィルムをはがしてください。

3.リアカメラ

3-1 取り付け

リアガラス



車外



車内



3-2 動作確認

①取付前に本体動作確認

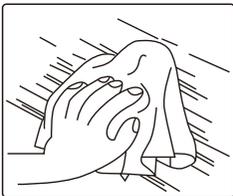


②2 カメラで記録されていることを確認



! 取り付け前に必ず動作確認を行ってください。

3-3 取り付け位置とクリーニング



最初に取り付け位置を決めてください。
取付位置のガラスをクリーニングクロスで汚れや油分、水分を除いて清掃してください。

! 取り付け例はあくまでも参考のため車種によって異なります。
取り付け作業は業者及び自己責任のうえお取り付けください。

3-4 ドライブレコーダー本体から後方へ配線（リアガラス、車外は共通）



①電源ケーブルを本体に配線



②リアカメラケーブルを配線



③センターピラーから助手席に配線



④助手席のゴムを剥がす



⑤センターピラーに配線



⑥後席のゴムをはがす



⑦配線



⑧バックドアへ配線



⑨隙間に配線



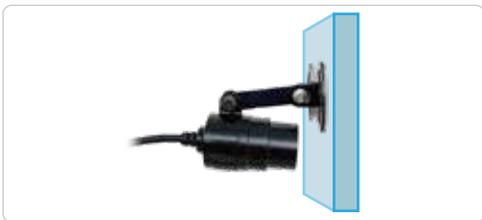
⑩配線

3-5 リアガラスに取り付ける場合

× ガラスの角度があり、うまく取り付けできない



○ リアガラスマウントを使用すれば取り付けできる



●リアガラスマウントの取り付け

①マウントのネジをはずす



②リアガラスマウントの取り付け



③リアカメラに装着



④マウント取り付け完了



※白い目印を上にはすれば、正しいリアカメラの角度になります。



リアガラスへ取り付ける場合（リアカメラで後方を撮影）



①取り付け位置のクリーニング



②位置を決めて取り付け



③リアカメラとケーブルを接続



④ケーブル配線用クリップを用意（市販品）

! コネクタの接続時、向きや挿入方向にお気を付けてください。
無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。

3-6 車外に取り付ける場合

●リアガラスマウントを取る

①リアカメラに装着



②マウント取り付け完了



●取り付け

①取り付け位置のクリーニング



②位置を決めて取り付け



③リアカメラとケーブルを接続



- !** コネクタの接続時、向きや挿入方向にお気を付けください。
無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。

3-7 車内に取り付ける場合

●リアガラスマウントを取る

①リアカメラに装着



②マウント取り付け完了



●取り付け

①リアカメラ用ケーブル 10cm を接続



②電源とリアカメラのケーブルを接続



③取り付け位置をクリーニング



④リアカメラを取り付け



! コネクタの接続時、向きや挿入方向にお気を付けください。
無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。

3-8 フェライトコア取り付け

本製品は電波干渉を抑える設計のため、完全に遮断するものではありません。アンテナ線や特殊機器などに影響する可能性がある場合は、リアカメラ側のケーブル両端にフェライトコアの取り付けを行ってください。尚、すべての環境で必ず取り付けするものではないため、お客様側のご判断で取り付けを行ってください。

※本製品はすべての環境で電波の影響を完全に遮断する事を保証するものではありません。

●ケーブルにワンタッチで簡単装着



- 取り付け例はあくまでも参考のため車種によって異なります。
- 取り付け作業は業者及び自己責任のうえお取り付けください
- リアカメラは車種によってはうまく取り付けできない場合があります。穴あけ加工など必要な場合は、自己責任のうえお取り付けください。カーエレクトロニクス製品の取り付け経験と知識のある業者へ事前にご相談を行ってからお取り付けください。
- 車外からプライバシーを守るリアスモークやプライバシーガラス車の場合、車内からリアカメラで撮影しても見えにくくなります（特に夜間走行時）
- ラジオやテレビなどのアンテナ付近にケーブル配線すると受信感度に影響をする可能性もあるため、配線前に必ずケーブルに影響ないかご確認ください。
- 両面テープの接地面が電熱線やアンテナなど重ならないようにしてください。
- リアカメラとケーブルを接続する際は、向きや挿入方向にお気を付けてください。無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。
- 製品の不具合や車との相性などによって発生する取り外し費用の負担、取り付けによる破損やケガなどいかなる場合でも当社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- リアカメラのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。接続部分を十分に確認してからお取り付けください。無理に挿入すると、ケーブル接続端子やリアカメラ自体の破損の原因となります。

4.使用について

本製品はお客様に満足、また快適にご使用いただくため万全の設計と品質管理のもと製造された製品です。しかし、天候状況や明るさなどの影響により録画された映像がはっきりしない場合や録画保存エラーが発生し一部製品の機能がうまく稼働できない場合もございますので、予めご了承ください。

- 急激に明るさが変わる場合
- 日光の影と日差しの逆光が強い場合
- 走行中の激しい振動
- 悪天候（大雨／雪／強風／濃霧／夜間など）
- 消耗によるもの、地震・雷・火災など災害によるもの（自然災害を含む）、結露、環境要因に起因する電圧の変化など
- 夜の光源がまったくない極端な場合など

4-1 起動

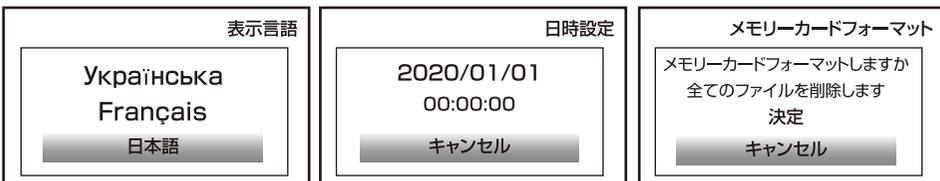


- 1 電源ケーブルを、車に標準装備されているシガーソケットに接続。
- 2 電源ケーブル側の mini USB コネクタを本体に接続
- 3 車のキーを ON にして、本体を起動

! 本体起動して初期設定を完了した後、メモリーカードのフォーマットを実行してください。安定動作と映像品質を保つ目的のため、必ずご使用されるメモリーカードはドライブレコーダー専用品としてご使用ください。

4-2 初期設定

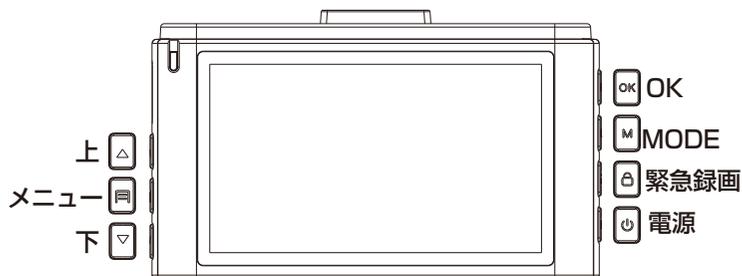
初期設定を行う事により、録画することができます（初期設定しないと録画できません）



- 1 言語の設定：ご使用になる言語を選択し、「OK ボタン」を押す。
- 2 日時の設定：「上ボタン」、「下ボタン」で選択し、「OK ボタン」
- 3 メモリーカードのフォーマット：「決定」を選択し、「OK ボタン」を押す。

! フォーマット実行すると、メモリーカードの全データが消えるため、必ず事前にバックアップを行ってください。

4-3 ボタン



モード					
ボタン	録画		再生	再生時	設定
	録画中	録画停止時 (長押し)			
上	画面切替	× メモリーカード フォーマット	カーソル (左)	巻き戻し	カーソル (上)
メニュー	×	設定画面へ	ファイル 削除 / 保護 映像一覧 切替 F/R	削除 / 保護	モード切替
下	録音 オン / オフ	録音 オン / オフ	カーソル (右)	早送り	カーソル (下)
OK	録画 停止 / 開始	録画 停止 / 開始 静止画撮影	再生 / 実行	再生 / 一時停止 / プレビュー	実行
MODE	×	再生画面へ 駐車監視 オン / オフ	画面切替	戻る	録画モード へ移動
緊急録画	手動録画	×	×	×	×
	×	動体検知 オン / オフ	×	×	×
電源	モニター画面 オン / オフ				

※長押しボタン：カラー表示時（黄）、印刷時（塗りつぶし）

4-4 電源オフ



電源オフ：電源ボタンを約 3 秒長押し
または、車のキーを OFF

電源オン：電源ボタンを約 3 秒長押し
または、車のキーを ON

! メモリーカードの取り外しは完全に電源が切れたことを確認してから行ってください。

4-5 録音

録画モード時、「下ボタン」を押して切り替える。



録音オン



録音オフ

4-6 LED ランプ

LED	状態
点滅（ブルー）	録画中
常時点灯（ブルー）	録画停止

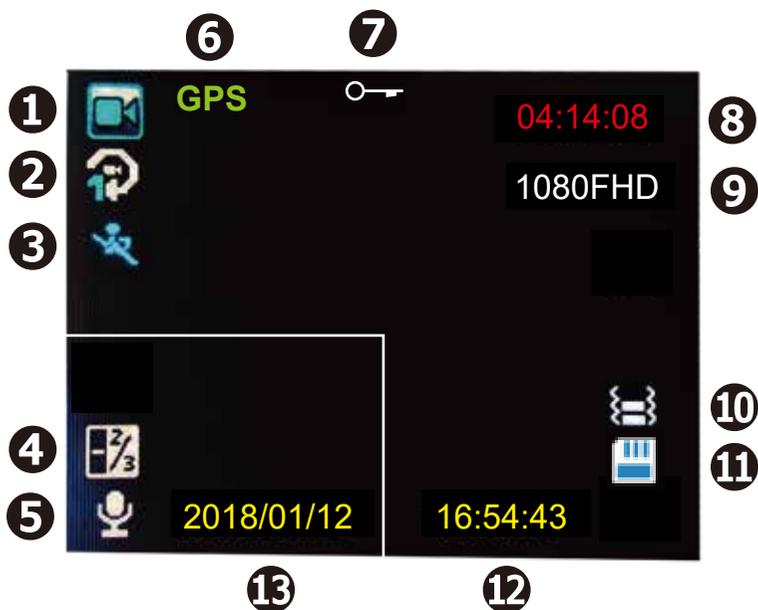
※環境によって、実際の点滅が見えづらい場合もございます。

4-7 画面表示の切り替え

録画モードの時、「上ボタン」を押して画面を切り替わります。



4-8 アイコン (モニター画面)



- | | |
|--|---|
| <p>① 録画中 (赤丸●点滅)
 録画停止</p> <p>② 録画ファイル構成 (1分)
 録画ファイル構成 (2分)
 録画ファイル構成 (3分)</p> <p>③ 動体検知モード (作動中)</p> <p>④ 露出補正值</p> <p>⑤ 音声録音 (作動中)
 音声録音 (オフ)</p> <p>⑥ 緊急録画中
 常時録画中</p> | <p>⑦ 緊急録画中
非表示 常時録画中</p> <p>⑧ 04:14:08 録画時間</p> <p>⑨ 1080FHD 録画解像度表示</p> <p>⑩ G-センサー (作動中)</p> <p>⑪ メモリーカード装着済み
 メモリーカードがない
または認識していない</p> <p>⑫ 16:54:43 時刻表示</p> <p>⑬ 2018/01/12 日付表示</p> |
|--|---|

5.録画、再生

5-1 常時録画（上書き）

本製品の起動後、自動的に映像ファイルをメモリーカードへ記録します。
初期設定は1ファイル3分間（1分/2分/3分/5分/10分へ設定可能）
メモリーカードに記録できる容量が一杯になると、自動的に古いファイルを上書きして記録します。

常時録画で記録されたファイルは、メモリーカードの『MOVIE』フォルダへ保存します。

5-2 緊急録画

手動録画：緊急録画ボタンを押してファイルを緊急フォルダへ保存
（メモリーカード保存先：『SOS』フォルダ）

衝撃録画：衝撃検知時、自動的にファイルを緊急フォルダへ保存
（メモリーカード保存先：『SOS』フォルダ）

緊急フォルダの記録容量：実際に記録できるメモリーカード容量の約17%に設定されています。設定値を超えた場合、自動的に古いファイルを上書きして記録します。

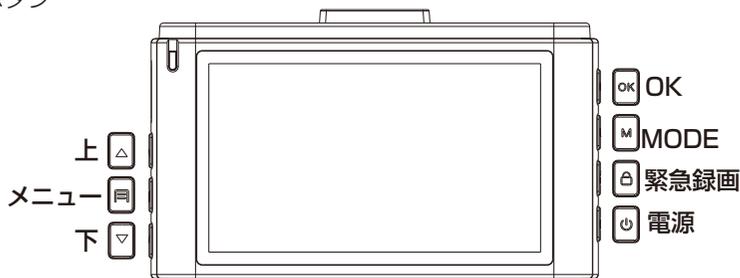
※注意：定期的に緊急録画のファイル数を確認して、PCへ保存後にファイルの削除を行う。

5-3 スナップショット（静止画撮影）

静止画を撮影：「OK ボタン」を長押し（メモリーカード保存先：『PHOTO』フォルダ）
（削除時も同様な操作）

5-4 映像再生

■ボタン

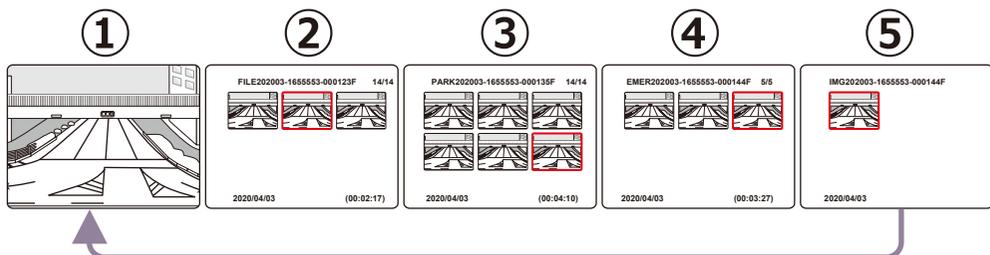


■「MODE ボタン」を押した時に画面は切り替わる

※録画中に「OK ボタン」を1回押して、録画を停止してから、操作します。

<ドライブレコーダーの常時録画の画面が表示>

- ① 常時録画の画面（録画中→録画停止）
- ② 常時録画ファイル
- ③ 駐車監視ファイル
- ④ 緊急録画ファイル
- ⑤ 写真ファイル



■映像の再生

- 1 録画中に「OK ボタン」を1回押して、録画を停止する。
- 2 再生画面：「MODE ボタン」を1回押す
- 3 ファイルを選択：「上・下ボタン」を押して、ファイルを選択
- 4 映像再生・停止：「OK ボタン」を押す

■ファイルの削除

- 1 映像の再生画面（映像一覧を表示している画面）
- 2 「メニューボタン」を押す
- 3 「ファイルの削除」を選択して「OK ボタン」を押す

※録画中の画面の場合は、「メニューボタン」を押して設定画面から操作可能

<1ファイルを削除する>

- 4 「1ファイル削除」を選択し「OK ボタン」を押す
- 5 削除したいファイルを選択し「OK ボタン」を押す
- 6 「選択ファイル削除？」で決定を選択し「OK ボタン」を押す

<全ファイルを削除>

- 4 「全ファイルを削除を選択し「OK ボタン」を押す
- 5 削除したいファイルを選択し「OK ボタン」を押す
- 6 「全ファイル削除？」で決定を選択し「OK ボタン」を押す

■ファイルの保護：「ファイルの保護」を選択

- 1 映像の再生画面（映像一覧を表示している画面）
- 2 「メニューボタン」を押す
- 3 「ファイルの保護」を選択して「OK ボタン」を押す

<1ファイルを保護、解除する>

- 4 「1ファイル削除（解除）」を選択し「OK ボタン」を押す
- 5 保護（解除）したいファイルを選択し「OK ボタン」を押す
- 6 「ファイル保護（解除）？」で決定を選択し「OK ボタン」を押す

<全ファイルを保護、解除する>

- 4 「全ファイル削除（解除）」を選択し「OK ボタン」を押す
- 5 保護（解除）したいファイル「動画ファイル」、「写真ファイル」を選択し「OK ボタン」を押す
- 6 「全ファイル保護（解除）？」で決定を選択し「OK ボタン」を押す

5-5 USB 接続（データの読み取り）

※USB ケーブルは付属していません。市販されているデータ通信ケーブルをご用意ください。

- 1 本体とパソコンを USB ケーブルで接続すると PC 側で『USB ドライブ』をして認識される。
- 2 パソコンで『USB ドライブ』を開きます。
- 3 必要なファイルを選択し、パソコンにコピーしてください。

5-6 保存先フォルダ名

メモリーカードに自動的に作成されるフォルダ名とファイル内容は以下になります。

- MOTION：動体検知録画ファイル、駐車監視ファイル
- MOVIE：常時録画ファイル、タイムラプスファイル
- SOS：緊急録画ファイル
- PHOTO：写真ファイル

5-7 メモリーカード接続（データの読み取り）

- 1 本体の電源オフにした後、メモリーカードを取り出してください。
- 2 メモリーカードをパソコンに接続すると『セキュリティで保護された記憶域デバイス』と表示されます。
- 3 『セキュリティで保護された記憶域デバイス』から必要なファイルを選択し、パソコンにコピーして完了。

5-8 ファームウェアのアップデート（更新作業）

- 1 パソコンで (<https://www.miraion.jp>) のウェブサイトへアクセスする。
- 2 「製品サポート」 → 「ダウンロード」 → 「ファームウェアの対象製品」を選択してダウンロードを実行。
- 3 ダウンロードした最新ファームウェアを、メモリーカードへ保存。
- 4 メモリーカードを本体カードスロットへ挿入し、本体の電源をオン。
- 5 LED ランプが点滅し、アップデート完了後に自動的に電源がオフになります。
- 6 初期設定を終了後、「設定モード」 → 「初期化設定」を選択。
- 7 「すべての設定項目を初期化しますか」 → 「決定」を実行。
- 8 最終確認のため、設定画面で「バージョン情報」を確認してアップデート終了。

-  **ファームウェアのアップデート前に、必ずメモリーカードのフォーマット（初期化）してください。**
本体でアップデート中は電源を切らないでください（起動できなくなるなど不具合が発生します）

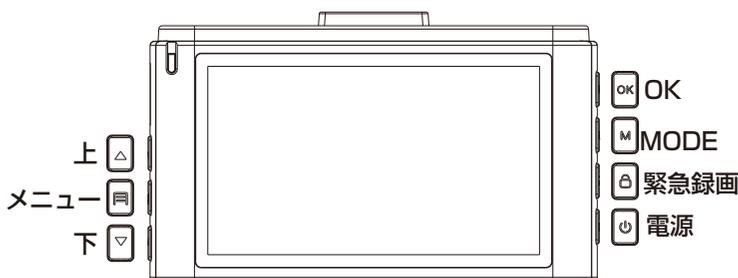
6.設定画面（走行中は大変危険なため絶対に操作を行わないでください）

※内容変更や修正について

製品の品質向上のため、デザインや仕様、付属品、取扱説明書、ファームウェアなど予告なく変更や修正される場合がありますのでご了承ください。更新情報はホームページ（<https://www.miraion.jp>）をご閲覧いただけますでしょうか。当社では万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら右記のメールアドレス（miraion@miraion.jp）までお問い合わせください。

設定画面の表示

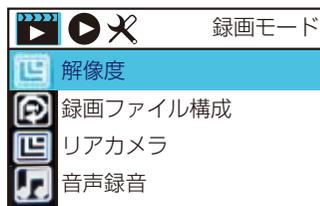
- 1 録画中に「OK ボタン」を 1 回押すと録画停止します。
- 2 「メニューボタン」を押せば、設定画面を表示。



※**クレージュ色枠 / 青色枠**（本体操作時）の設定は工場出荷時の初期設定となっております。また、場合によっては製造ロットにより、お手元の製品の設定がマニュアル表示と異なる場合がございますので、その場合はお手数ですが、再度設定をご確認ください。

6-1 録画モード

- 1 録画中に「OK ボタン」を 1 回押すと録画停止。
 - 2 「メニューボタン」を押せば、設定画面を表示。
- ※戻る場合、「メニューボタン」を押してください。



①解像度

動画撮影時の解像度を設定

【初期設定】：FHD 1080P（フルHD）



②ファイル構成

動画ファイルの録画時間を設定

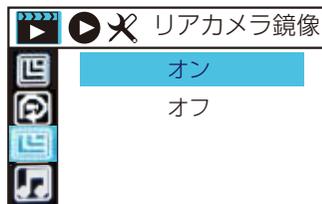
【初期設定】 3分



③リアカメラ鏡像

オン：鏡像 オフ：正像

【初期設定】 オン



④音声録音

録画のオン / オフを選択

【初期設定】 オン



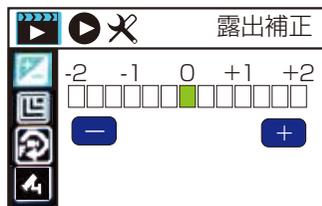
⑤露出補正 (EV 補正)

走行する撮影状況に合わせて、露出値を 13 段階を設定

設置値：-2、-5/3、-4/3、-1、-2/3、-1/3、0、
+1/3、+2/3、+1、+4/3、+5/3、+2

※露出値の設定は画質に影響します。

【初期設定】 0



⑥タイムラプス

ON/OFF を設定します。

【初期設定】 オフ



⑦動体検知

動体検知は動くものを画像識別して検知した時、映像を記録する機能。

動体を検知しない時は、待機モードに切り替わります。

【初期設定】 オフ



※動体検知機能を使用する場合、常時電源供給装置が必要です。

カーエシ製品の取付経験と知識のある業者に常時接続に関する説明を受けてからお取り付けください。

■設定方法（詳細設定）

1 録画中に「OK ボタン」を 1 回押して、録画を停止する。

2 「メニューボタン」を押して設定画面を表示。

3 「動体検知」を選択して「OK ボタン」を押す。

4 「低」、「中」、「高」の感度を選択して「OK ボタン」を押す。

※「オフ」を選択する本機能は終了します。

5 「動体検知」機能が設定されたので、「メニューボタン」を 3 回押すと録画モードに戻ります。

■設定方法（クイック設定）

1 「緊急録画ボタン」を約 3 秒長押し。

2 画面の左側にあるアイコン「動体検知マーク」が表示すれば設定完了。

※設定オフも同じく長押しすると、「動体検知マーク」が消えればオフ

※クイック設定時の感度は前回設定した「低」、「中」、「高」が継続される。

■使い方

1 動体検知機能の「低」「中」「高」を設定してください。

2 設定画面で「メニューボタン」を 3 回押すと、録画モードの画面に戻ります。

3 動体を検知しない状態で約 1 分間経過すれば「待機モード」になります（LED 点滅→点灯）

4 待機モードでカメラ前方に人や車など動くものを検知時、自動的に記録を開始。（LED 点灯→点滅）

5 動体が無くなったら記録は終了し、約 1 分後に「待機モード」に切り替わります。

※動体検知機能使用中、ボタン音がオフになります

⑧ 駐車監視

駐車監視機能の設定時、ドライブレコーダー本体が衝撃を受けると映像の記録を開始します。

【初期設定】 オフ



※ 駐車監視機能を使用する場合、常時電源供給装置が必要です。

カーエシ製品の取付経験と知識のある業者に常時接続に関する説明を受けてからお取り付けください。

■ 設定方法（詳細設定）

1 録画中に「OK ボタン」を 1 回押して、録画を停止する。

2 「メニューボタン」を押して設定画面を表示。

3 「駐車監視」を選択して「OK ボタン」を押す。

4 「オン」を選択して「OK ボタン」を押す。

※ 「オフ」を選択する本機能は終了します。

5 「駐車監視」機能が設定されたので、「メニューボタン」を 3 回押すと、録画モードの画面に戻ります。

■ 設定方法（クイック設定）

1 「MODE ボタン」を約 3 秒長押し。

2 画面の左側にあるアイコン「駐車監視マーク」が表示すれば設定完了。

※ 設定オフも同じく長押しすると、「駐車監視マーク」が消えればオフ。

■ 使い方

1 「駐車監視」と「動体検知」の 2 つの機能を設定してください。

2 設定画面で「メニューボタン」を 3 回押すと、録画モードの画面に戻ります。

3 動体を検知しない状態で約 1 分間経過すれば「待機モード」になります（LED 点滅→点灯）

4 待機モード中に、ドライブレコーダー本体が衝撃を受けると自動的に 1 分間記録（LED 点灯→点滅）

5 記録終了後、動体検知機能として動くものがあれば継続して記録される

6 動体が無くなったら記録は終了し、約 1 分後に「待機モード」に切り替わる。

6-2 再生モード

録画停止中に「メニューボタン」を2回押すと、再生モード画面を表示します。
戻る時は「メニューボタン」を押してください。

1 ファイル削除

選択したファイル、全てのファイルを削除

2 ファイル保護

選択したファイルの保護、保護解除

※保護されたファイルは、常時録画で上書きされません。

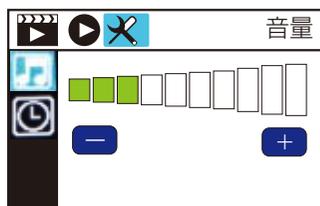


6-3 設定モード

1 音量

ボタン音、アラームなどの音量を設定

【初期設定】 3



2 日時調整

日付、時間を設定



3 日時表示形式

表示形式の変更、非表示を設定

【初期設定】 YYYY MM DD



4 データ形式

記録された映像に表示する項目を設定

「日付 + 型番」、「日付」、「型番」、「オフ」

【初期設定】 日付 + 型番



5 表示言語

メニュー言語を設定

英語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、
中国語（簡）、中国語（繁）、ドイツ語、イタリア語、
ラトヴィスキ語、ポーランド語、ルーマニア語、
スロバキア語、ウクライナ語、フランス語、
日本語、など全 15 ヶ国語

【初期設定】 日本語



6 LED 信号（東日本 / 西日本信号機対策）

LED 信号の点滅と撮影周期が一致した時、
LED 信号が無点灯で記録される場合があります。
LED 信号の無灯火記録を防ぎ LED 信号の早い点滅で
記録します。

【初期設定】 50Hz(東日本)



7 画面オートオフ

モニター画面を「常時オン」、または「1分」、「3分」
で画面をオフへ設定

【初期設定】 1分

※モニター画面保護のため、短い時間のオートオフに
初期設定。



8 G センサー

車の前後・左右・上下から車両の動きを検知して万が
一の事故など記録に役立ちます。

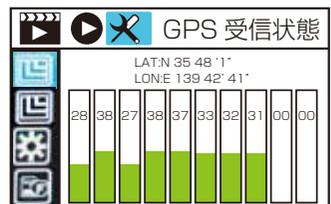
衝撃感度：「オフ」、「高」、「中」、「低」へ設定

【初期設定】 中



9 GPS 受信状態

GPS 信号の受信状態を表示。



10 タイムゾーン

タイムゾーンとは世界標準時間と日本時間の時差の設定です。

GPS を使う地域（国）によって異なり、日本国は+9時間の設定（GMT+9）

【初期設定】 GMT+9（日本）



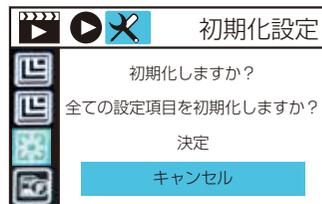
11 初期化設定

ご購入時の状態に設定を初期化

初期化後、各機能の再設定を行ってください。

【初期設定】 キャンセル

※実行後、電源ボタン押して再起動を行ってください。



12 メモリーカードフォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

【初期設定】 キャンセル



※安定してご利用いただくためにも定期的なメンテナンスとして月1～2回フォーマットを推奨。

※フォーマット実行すると、メモリーカードの全データが消えるため、必ず事前にバックアップを行ってください。

※メモリーカードは書き込み回数制限を持つ製品寿命のある消耗品です。

ご使用される頻度にも異なりますが、6か月～1年を目安に交換を推奨しています。

7.動画再生用ソフト

7-1 Windows 版

対応 OS : Microsoft Windows 8 (32 ビット /64 ビット版)

Microsoft Windows 8.1 (32 ビット /64 ビット版)

Microsoft Windows 10 (32 ビット /64 ビット版)

※ただし、PC の環境により動作しない場合がございますので予めご注意ください。

7-2 MAC 版

対応 OS : Mac OS X 10.14.1 以降

7-3 ソフトウェアのダウンロード

商品には専用ソフトを同梱しておりません。

ホームページの「動画再生ソフト」からダウンロードしてください。

<https://www.miraion.jp/downloads/>



①ビデオファイル リスト

②前 (フロント) カメラ再生映像

③後 (リア) カメラ再生映像

④操作ボタン

⑤Google マップ表示

⑥参照フォルダ

⑦言語変更

■動画データの選択方法

⑥の参照フォルダを開いて、映像ファイルが保存されている場所を選択して開いてください。

動作確認済み

Microsoft Windows 10 Home バージョン 1909

Mac OS Catalina 10.15.2

※ PC の環境により動作しない場合がございますので予めご注意ください。

8. サポートチェック (故障の疑いがある場合、こちらをご確認ください)

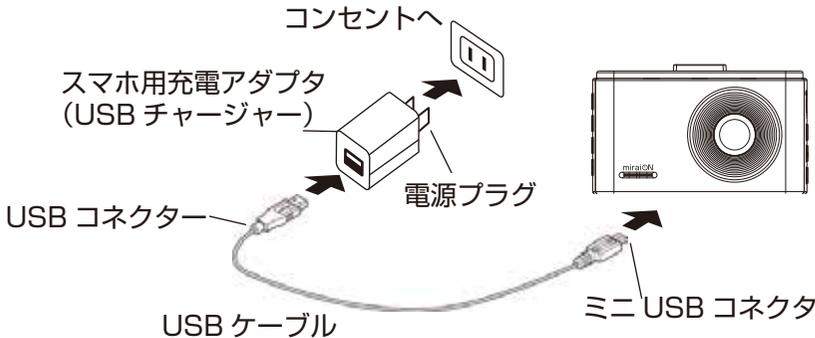
Check 1 : スマホの充電器で動作チェック

安定した電源供給のもと、検証を行うことができます。

1 ファイル 3 分間記録するため、1 時間で 20 ファイルを記録します (初期設定時 1 ファイル 3 分)

3 分間隔で記録が残っている場合は、製品本体とメモリーカードは問題ございません。車側からの電源供給が安定していないことが考えられます。

スマホの充電器で動作チェック



※配線済みの場合、モバイルバッテリーで動作確認をお願いします。

Check 2 : メモリーカード

ご注意：必要なファイルがある場合、事前にパソコンへ保存してください。

- 1 メモリーカードをはずした状態で起動した時、症状は発生しますか？
- 2 必須事項：付属のメモリーカードで症状は発生しますか？
- 3 別のメモリーカードで症状は発生しますか？

メモリーカードをフォーマットしても症状が改善されない場合、メモリーカードの破損の疑いがあります。

※フォーマットできない、ファイルを削除できない、メモリーカードへ書き込みできない等の症状を含む

別のメモリーカードを使って問題が無い場合は、本体の故障ではございません。新しいメモリーカードをご用意いただき、交換してご使用ください。

※対応メモリーカード：

microSDHC 16～32GB、microSDXC 64～128GB、Class10 (UHS-I) を推奨。
メモリーカードが高性能の際にうまく動かない場合もございます。
すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

Check 3 : メモリーカードのフォーマット

ご注意：必要なファイルがある場合、事前にパソコンへ保存してください。

ドライブレコーダー本体の設定モード画面で「メモリーカードフォーマット」→「決定を選択」→「OK」を押す。

※製品は上書きする設計ですが、メモリーカード側の仕様によって書き込み回数が増えると不要なデータが溜まります。その解決方法としてメモリーカードを正常な状態に戻すため定期的に月1～2回フォーマットを実行してください。

Check 4 : ドライブレコーダーに必要な電源不足

必要な電圧電流が足りていない場合、様々な症状を発生することがございます。

下記動作テストを行っていただけますでしょうか。

- 1 商品に付属されているシガープラグ電源ケーブルをご用意。
- 2 車両に標準装備されているシガーソケットへ直接接続してください。
- 3 動作で問題ない場合は、本体の故障ではございません。

配線先を調整して、ドライブレコーダーへ安定した電源供給を行えるようにご調整いただけますでしょうか。

※下記の場合、電源供給の不安定により起動しないことや録画中断、録画されない恐れがあります。

シガー分配器や延長ケーブル、他社製 USB チャージャーなどご使用されている場合。デッキ裏などの裏配線、タコ足配線を行っている場合。

Check 5 : ドライブレコーダーの充電不足

本体に内蔵されたバックアップ電源は、本体設定や日時記憶、データを保存するまで動作することを目的として搭載しております。太陽の熱を浴び続ける過酷な環境で安全にご使用頂けるように蓄電容量が少なく充電速度の遅い部品を採用しております。満充電の状態でも4～5日ほどで充電不足になるため、定期的な通電が必要になります。満充電は約2時間の通電が必要です。ドライブレコーダーを満充電にしてから症状の有無をご確認ください。Check 1 で動作テストを行う事も可能です。

※電力不足の状態だと、車での充電は行われていないケースも考えられます。

Check 6 : エンジンキーの使い方

- ①OFF (LOCK) → スタートしてエンジン始動すれば、動きます。
- ②ACC → スタートすると瞬間停電が起きるため、ドラレコは起動しない、遮断されます。

解決策は、1度キーの位置をLOCKへ戻して、再度①のように動かしてください。

※ACC=エンジンは動かないが電源は流れるキーの位置状態

Check 7 : 電源ケーブルの接触不良

スマホ本体の充電時に良く見受けられる接触不良のように、ケーブル内部の「ねじれ」や「ひっかけ」などで接触不良となって動作不安定となっている場合もございます。通電中にケーブルを振る、コネクタを触るなど行って変化がないか1度ご確認くださいませう。

Check 8 : ファームウェア更新

公式ホームページに公開されているファームウェアへ更新をしてください。
※不具合の疑いがある場合、最新版であっても再度上書きして更新を推奨。
URL:<https://www.miraion.jp>

Check 9 : 特殊車両 (アイドリングストップ、ハイブリット、省エネ機能の一部)

ドライブレコーダーは電源供給が行われると起動し、切断されると電源が切れます。そのためアイドリングストップと連動して電源供給が止まる場合、動作は終了します。ハイブリット車のガソリンモードとバッテリーモードへ切り替わる時に電圧電流が急下降と急上昇している車両の場合、ドライブレコーダーは電源供給が無くなったと判断するため動作を終了します。再度電源供給が行われたことを検知して再起動します。

対策として、アイドリングストップやハイブリット機能と連動しない安定した電源供給を可能とした電源ラインから配線して電源供給を行ってください。詳しくは車のメーカー様のサポートセンターにご確認いただき、車整備専門店に関する取り付け経験と知識のある業者様にご相談ください。

※本件の疑いがある場合、Check 1 のスマホの充電器でチェックを行ってください。

外部電源で動作しているが、車に接続すると症状が発生する場合には特殊車両が原因と考えられます。

Check 10 : 電波干渉

本製品は電波干渉を抑える設計のため近くにアンテナ線や特殊機器のある場合に影響する可能性ありますので、影響する主な原因は、「設置場所」か「電源配線」が考えられます。

1 「設置場所」による影響

ドライブレコーダーの設置場所を調整してお取り付けください。

2 「電源配線」による影響

お手持ちの「ミニUSB⇔USBケーブル」と「スマートフォンを充電するモバイルバッテリー」で動作テストを行った時に症状が改善される場合、車の電源配線を通じて他の機器に影響していることが主な原因として考えられます。

対策としまして、配線先やアース位置など車整備専門店の知識と経験のある専門業者様にご相談ください。

※すべての影響を解決できることを保証する内容ではございませんので予めご了承ください。

FAQ

製品が起動しない

8. サポートチェックをご確認ください。

モニター画面が表示されない

録画モードで「電源ボタン」を1回押してディスプレイオンにしてください。

動体検知機能をオフにしてください。

オートオフ機能を常時オンにしてください。

メモリーカードがいっぱい

パソコンに必要なデータを保存して、メモリーカードをフォーマットしてご利用ください。

本体で映像を再生できない

ファイル名、及びフォルダ名を変更していないか？パソコンで確認ください。

メモリーカードが破損している場合、別のメモリーカードでお試してください。

映像を確認したい（パソコンを持っていない）

ドライブレコーダーのモニター画面で映像を再生してご確認ください。

特殊車両（アイドリングストップやハイブリット、省エネ、エコ機能などをもつ車両での動作について）

原因の切り分けのため、本取扱説明書「8. サポートチェック Check 9」をご確認ください。

なお、当社では製品サポート対象外となる場合がございますので、ご了承ください。

シガーソケット電源以外から電源を供給したい

スマート常時直結電源コードまたは外部常時電源供給装置が必要です。

当社正規製品サポート外となりますので、ご了承ください。

カーディーラーや車整備専門店の詳しい担当にてお取り付けを行ってください。

ケーブルの埋め込み配線をしたい

カーディーラーや車整備専門店の詳しい担当にてお取り付けを行ってください。

LED 信号機への対応

LED 信号機は高速で点滅しているため、本製品で録画した場合には点滅したように録画されます。

常時録画に録画されるデータとは

メモリーカードへ録画し容量がいっぱいになると古いデータから上書きして録画します。

※必要なデータがある場合、バックアップまたは別のメモリーカードをご用意ください。

緊急録画データ

メモリーカードの容量約13%を使用すると古いデータを上書きして録画します。

※必要なデータがある場合、バックアップ又は別のメモリーカードに変えてください。

9.修理・点検依頼

ご依頼時、お客様へ迅速かつ確実な修理・点検を行うための症状再現など行うためにご協力をお願いいたします。

9-1 不具合の疑いある場合

購入販売店又は当社ホームページの「サポート / お問い合わせ」へご連絡ください。

9-2 保証対応の場合

購入証明書（レシートや購入画面など）の提示が必要です。

購入保証書が無い場合は保証対象外でのご対応となります。

9-3 依頼時に必要なもの

修理・点検依頼時に必要な付属品一式をご用意ください。

- 1 ドライブレコーダー本体
- 2 付属の電源ケーブル
- 3 付属のメモリーカード
- 4 リアカメラとリアカメラ電源ケーブル
- 5 GPS
- 6 分岐ケーブル

※不具合症状を再現するために必要となります。症状を再現できない場合、品物をそのままご返送いたします。

※付属品欠品での再修理のご依頼時は、往復の送料をご負担いただく場合がございます。

※メモリーカードのデータはお客様側で必ずバックアップを行ってください。

いかなる場合でも当社ではメモリーカードのデータを保証できかねますのでご了承ください。

9-4 依頼時の送料

依頼品をご送いただく際の送料は、お客様負担となります。

輸送中の破損や紛失などについて当社では一切責任を負いかねます。

ご注意のうえ梱包してください。

10.製品に関するお問い合わせ

製品の品質向上のため、デザインや仕様、付属品、取扱説明書、ファームウェアなど予告なく変更や修正される場合がありますのでご了承ください。更新情報はホームページ (<https://www.miraion.jp>) をご覧いただけますでしょうか。当社では万全を期して製品や操作方法などを作成しましたが、万一ご不便やご不都合など、お気づきの点がありましたら右記のメールアドレス (miraion@miraion.jp) までお問い合わせください。

はじめに

ドライブレコーダー
本体

リアカメラ

使用について

録画、再生

設定画面

動画再生用ソフト

サポートチェック

修理・点検依頼

製品に関する
お問い合わせ

製品仕様

保証規定

11.製品仕様

画面サイズ	3.0 インチカラー液晶モニター	
対応メモリー	microSDHC 16 ~ 32GB microSDXC 64 ~ 128GB Class10 (UHS-I) を推奨。 ※メモリーカードが高性能の際にうまく動かない場合もございます。 ※すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。	
GPS	外付型	
3軸 G センサー	内蔵	
画素数	フロント	リア
	200 万画素	200 万画素
	SONY STARVIS™	SONY Exmor™
解像度	フロント	リア
	①フル HD (1080p)	フル HD (1080p)
	②HD (720p)	フル HD (1080p)
記録形式	MOV	
フロントカメラ	レンズ	対角 140° 水平 108° 垂直 62°
	F 値	F1.6
	寸法	90×54×34mm
	重さ	約 68g
リアカメラ	レンズ	対角 131° 水平 111° 垂直 59°
	F 値	F1.8
	寸法	40×48×52mm
	重さ	約 50g
	防水レベル	IP67
録音	オン / オフ可	
画像補正	HDR/WDR ※フロントのみ	
電源電圧	12V/24V 車対応 (5V1.5A)	
動作温度	0℃ ~ 60℃	
電源ケーブル	約 4m (シガーソケット接続)	
リアカメラ 接続用ケーブル	分岐ケーブル (リアカメラと GPS 接続用) (約 17cm) リアカメラ用ケーブル (約 10m) リアカメラ用ケーブル (約 10cm) ※リアカメラ側に約 30cm のケーブル付き	
蓄電デバイス	スーパーキャパシタ	
設定メニュー言語 (Multi Language)	日本語、English、中国語 (繁 / 簡)、Deutsch、Français、 Русский、Español、Latviski、Portugues、Italiano、 Polski、Românesc、Slovenčina、ukraiHcbka 全 15ヶ国語	
保証期間	1 年	

12.保証規定

●保証期間内に取扱説明書の注意書きに従った正常な使用方法で故障した場合に無償対応いたします。

●保証の対象品は製品本体のみです。

●保証期間は新品購入日から1年間です。

転売品など所有権譲渡品、中古売買品は理由を問わず保証対象外となります。

●本製品の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

●本製品の取り付けしたことによる車両や車載品の故障、取り付け・取り外しの作業費用、事故など付随的損害、自然災害、火災、その他の事故、お客様の故意又は過失、改造などによって生じた損害に関して、当社は一切その責任を負いません。

●不具合の疑いがある場合、購入店舗又は当社サポートセンターへお問い合わせください。サポート窓口のメールアドレス miraion@miraion.jp

●製品の初期不良期間は購入日から1ヵ月以内です。購入後1ヵ月経過品は点検扱いとなります。そのため、ご購入後速やかに動作確認いただけますでしょうか。

●サポート依頼品の送料はお客様元払いで発送ください。

●本製品の保証書は日本国内のみ有効です。

The warranty of this product is valid only in Japan.

●保証対象品は製品本体のみ。

メモリーカードやケーブルなどの付属品は消耗品扱いとなり、保証対象外となります。

●製品の品質向上のためデザインや仕様、付属品、取扱説明書、ファームウェアなど予告なく変更や修正される場合がありますのでご了承ください。更新情報はホームページ (<https://www.miraion.jp>) をご覧いただけますでしょうか。

●本製品の故障または使用によって生じたあらゆる障害は直接、間接的問わず当社では一切の責任をおいかねますので予めご了承ください。

●本製品の取り付けしたことによる車両や車載品の故障、取り付け・取り外しの作業費用、事故など付随的損害、自然災害、火災、その他の事故、お客様の故意又は過失、改造などによって生じた損害に関して、当社は一切その責任を負いません。

●本製品の故障による取り付け・取り外しの作業費用、人身事故や火災事故、社会的な損害など当社では責任を負いかねます。

●付属品以外の製品を使用されますと、本製品に損傷や損害、破壊などを与える恐れがあります。

●万一録画されていない場合やデータ破損、映像内容を判別できない等の損害について当社は一切責任を負いません。

●本製品はすべての状況において映像の録画を保証するものではありません。

●本製品は、事故の検証に役立つことも目的の一つですが、証拠としての効力を保証するものではありません。

●本製品で録画した映像は、その使用目的や使用方法によって被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また本機をイラズラなどの目的で

●本製品で録画した映像は、その使用目的や使用方法によって被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また本機をイラズラなどの目的では使用しないでください。

●天候状況や明るさ、振動などの影響により正しく動作をしない場合もありますが、故障ではございません。

●昼間に日差しや夜間にライトがナビの画面などに反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が劣化します。

●LED 信号機は高速で点滅しています。本製品で LED 信号を撮影すると点滅状態で撮影されますが、万一 LED 信号が無灯火の映像の場合には前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。恐れ入りますが、LED 式信号機が映らない件について当社では一切責任を負いません。

●以下の場合には保証対象外になります。

1. 使用上の誤り、不当な修理と改造、調整、誤接続による故障および損傷。
2. ご購入後の落下、衝撃、加圧、浸水などの不当な扱いによる故障および損傷。
3. 当社の指定サービス機関以外で行われた修理、改造、分解による故障および損傷。
4. 消耗によるもの、地震・雷・火災など災害によるもの（自然災害を含む）、結露、環境要因に起因する電圧の変化など。
5. 保管の不備（高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等）や手入れの不備（本体内部に砂やほこり、液体など異物混入）による故障および損傷。
6. 本製品以外の原因で生じた故障および損傷。
7. 本保証書の提示が無い場合又は未記入、改ざんがに止められた場合。
8. 本保証書に購入日や販売店名の記載が無い場合、或いは記載事項を書き換えられた場合。
9. 付属品や消耗品類の交換。